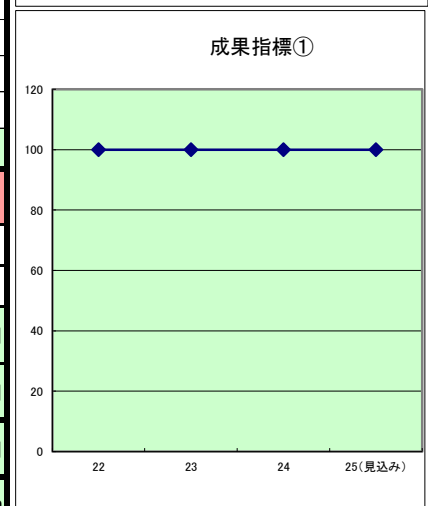
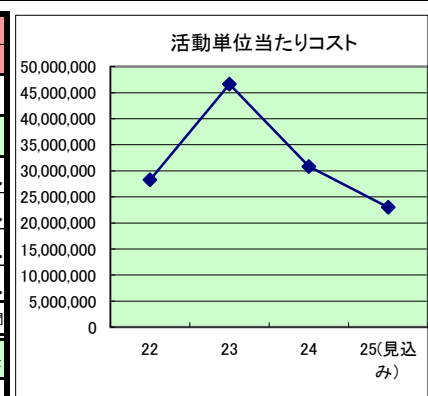


事務事業名		観光農園事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	款	7	商工費	
	施策(節)	8	観光振興・都市交流	項	1	商工費	
	施策の方向	(1)	地域資源の活用と観光資源の創出	目	3	観光費	
				事業	55	観光農園整備	
関連する計画等				作成部署	生活環境部産業振興課		
				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2741		
事業の概要(目的・内容)		羽曳野市において、栽培可能と思われる果樹や修景に即した花や野菜を植え付け育成。また、育苗施設としてビニールハウスを設置し、公共施設で利用できる花苗の育成を行う。産業振興に寄与する植物の栽培、研究を推進し、羽曳野市の地域活性づくりにつながる施策を展開する。					
根拠法令等							
事業期間		☐ 10 年以上 ☐ 5 年以上10年未満 ☒ 5年未満（平成 年度開始）					
事業開始時から の状況変化							
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(みのりの里)		委託内容		管理運営業務	
		☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		19,641	33,681	24,270	11,864
人件費【2】 (千円)		8,640	12,960	6,555	11,150
職員数	正規職員	1.20 人	1.80 人	0.95 人	0.90 人
	再任用職員	人	人	人	人
	嘱託職員	人	人	人	人
	臨時職員	人	人	人	2.60 人
超過勤務(参考) (時間)		30.75 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】+【2】) 【A】 (千円)		28,281	46,641	30,825	23,014
財源内訳	国庫支出金 (千円)	8,897	7,278	0	0
	府支出金 (千円)	0	0	0	0
	市債 (千円)	0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等) (千円)	0	0	0	0
一般財源 【B】 (千円)		19,384	39,363	30,825	23,014
活動指標 (事業の活動実績) 【C】 単位		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)
① 施設整備工事 式		1	1	1	1
② 果樹栽培規模 本		63	79	152	164
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①) 円		28,281,000	46,641,000	30,825,000	23,014,000
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】) 円		19,384,000	39,363,000	30,825,000	23,014,000
市民1人当たりコスト (【A】÷人口) 円		240	398	264	198
一般財源【B】の推移(前年度比)			103.1 %	▲ 21.7 %	▲ 25.3 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ ☒) ※該当項目すべてに ☒		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☒ 5. その他(環境整備がおおむね整い、工事費が減少したため)			



成果指標 (事業の達成度 を測る指標)	指標名		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	①	事業推進率	%	目標	100	100	100	達成率(%)	100	
	(式又は説明)	予定した事業内容の進捗率		実績	100	100	100	100.0%		
	②			目標				達成率(%)		
	(式又は説明)			実績						

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
								○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	羽曳野市の新たな観光資源の発掘を促し、地域の活性化を図る必要がある。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☐	☒	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	委託事業として運営手法の検討に取り組んでいるが、今後の効率的な運営に向けてボランティア団体の育成等を含めて検討する。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☐	☒	☐	
	協働性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐	今後の運営について地域団体の活用等を含めて検討する。
		事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☐	☒	☐	
	有効性達成度	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	産業振興に寄与する商品の開発や地域活性化につながる企画・立案が急務である。
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など） 今後の効率的な運営に向けて、ボランティア団体の育成等を含めて検討する。また、種々多様な種類・品種の果樹を栽培しているので、今後、羽曳野市に適した果樹を選別し、観光資源に向く種類を選定していく必要がある。また、実った果実を使った商品の開発・研究を行い、産興振興につながる施策を検討する。	
行革本部評価	総合評価	
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
		評価理由・意見